

2005年9月より済生会熊本病院臨床工学部より週2日の派遣で業務を行っている。

1. ME機器中央管理業務

ME中央管理室では、機器の貸出し、保守点検整備および修理を主たる業務として活動している。

中央管理しているME機器は、人工呼吸器7台（マスクベンチレーションの機器1台及びレンタル器1台含む）、輸液ポンプ19台、シリンジポンプ6台、経管栄養ポンプ3台、小型シリンジポンプ6台、低圧持続吸引器6台、超音波ネブライザー4台、除細動器4台、AED2台、体外式ペースメーカー2台、その他にジェットネブライザー、セントラルモニター、ベッドサイドモニター、自動血圧計、パルスオキシメーターであった。

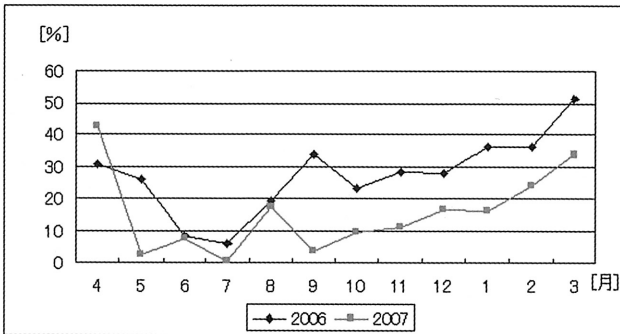


図1.人工呼吸器の稼働状況 (2006・2007年度比較)
平均稼働率19.9% (前年度31.7%)

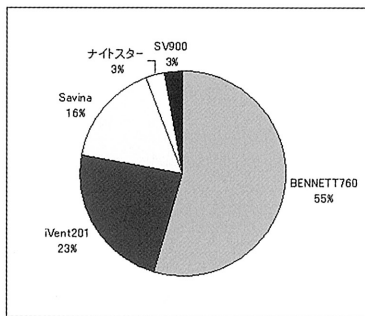


図2.人工呼吸器使用割合

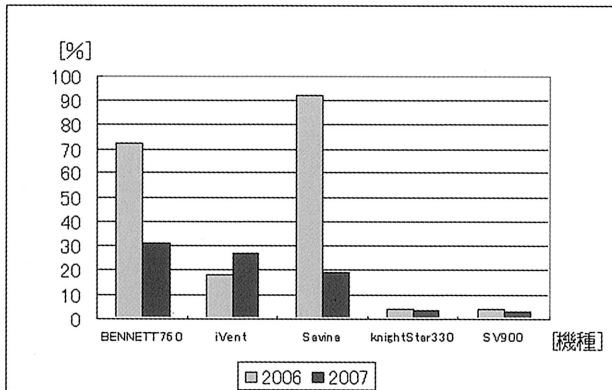


図3.人工呼吸器機種別稼働率 (2006・2007年度比較)

図2・3より「BENNETT760」2台と「Savina」の計3台が本院の主力機種といえる。

「SERVO900」は、病棟自体に圧縮空気のアウトレットの設備が少なく、コンプレッサー内蔵の機器を選択する傾向にあるため、更なる稼働率の低下につながっている。

「iVent201」は昨年度より需要が増加したが、マスク

ベンチレーションとしての利用が主であった。

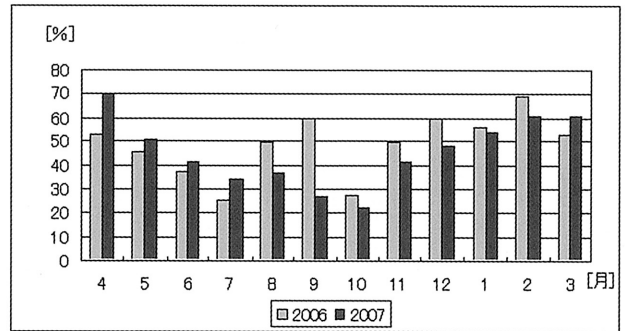


図4.輸液ポンプの稼働状況 (2006・2007年度比較)
平均稼働率45.4% (昨年度49.6%)

輸液ポンプの機種統一は完了している。

2. 病棟機器の修理整備業務

- ・機器の修理・調整は、中央管理機器によらず病棟管理の物品も行っている。
- ・修理依頼は酸素流量計が最も多く、次いで自動血圧計であった。
- ・新たに電気メスの定期的な点検を開始した。

3. 人工呼吸器業務

- ・人工呼吸器が必要な緊急時は機器を選定し、ベッドサイド配置及び呼吸器設定の補助を行っている。
- ・定期的な回路・フィルタ交換を行っている。
- ・回路構成の変更も行っている。(必要時)

4. ペースメーカー業務

- ・対外式ペースメーカーの電極挿入時にジェネレーター操作及びサポートを行っている。

5. 手術室業務

- ・麻酔器の定期点検を行っている。
- ・手術の補助も行っている。(必要時)

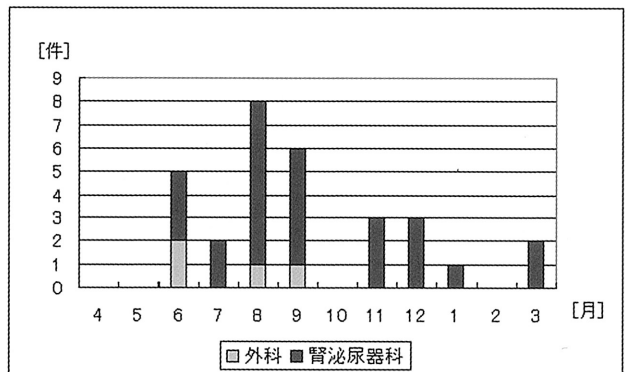


図5.手術助手業務件数

2007年度の手術助手業務は、外科4件、腎泌尿器科26件、合計で30件であった。

6. ME教育・指導

- ・ME機器の原理、構造、適切な使用法の勉強会を行っている。
- ・起こりうるトラブルとその対処、安全対策等に関して随時情報提供を行っている。
- ・トラブルの報告があった際は、迅速に対応・原因追求して返答し、その情報をME中央管理室に蓄積して、メーカーとの協議を行っている。